

体育協会からスポーツ協会へ

～新たな歩みの始まり～

阿賀野市スポーツ協会

会長 井上 易喜



平成も30年の歴史の幕を閉じて、5月から新元号「令和」の基で、新たな時代が始まっております。

このような時代の流れの中にあって、日頃から、市ご当局はじめ賛助会員の皆様、各競技団体の方々には、当協会の運営や各種スポーツ活動に対し、多大なるご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

ところで、近年、急激な少子化の進展は、基礎的なスポーツ人口の減少やスポーツの多様化など、当協会やスポーツ少年団の運営にも大きな影響を与えてきております。

このような中にもかかわらず、各競技団体、スポーツ少年団の指導者の皆様方には、スポーツ活動やスポーツ少年団活動を通して、競技力の向上や市民の生涯スポーツの振興、そして子供たちの健全育成と体力の向上等にご尽力頂き、深く感謝いたしております。

とくに、昨年も多くの小中学生の皆さんが、全国大会や北信越大会に出場し、活躍されておりますがこれも各競技団体の指導者の皆さんのご尽力のお陰であり、改めて皆様方に厚くお礼を申し上げます。

さて、慣れ親しんだ体育協会という名称を、平成31年度総会において「阿賀野市スポーツ協会」に変更することを承認いただきました。

また、市町村体育協会の上部団体であります「日本体育協会」と「新潟県体育協会」は、平成30年4月1日に「体育協会」の名称を「スポーツ協会」に変更しております。

日本体育協会の前進である「大日本体育協会」は、1911年(明治44年)に創立されておりますが、当時の「体育」という概念には、スポーツを含むという広義の意味を持つものと理解され、使用されてきました。

しかし、1964年の東京オリンピックを契機に「スポーツ」が、社会に広がりをもせ発展していく中で、スポーツという言葉が多様される時代となってきました。

現在、スポーツは広義にとらえれば、競技スポーツだけでなく、健康維持のための運動や伝統的なスポーツさらにニュースポーツなども含め、体育や身体活動の概念を包括しているものと考えられています。

そして、2020年の東京オリンピック、パラリンピック大会を間近に控え、オリンピックに対する関心は、より一層高まっています。

このようなことから、このたび体育の概念を包括している、広義のスポーツという言葉をもって「阿賀野市スポーツ協会」と改称するものであります。

この名称変更を契機に、更に市ご当局はじめ加盟団体、スポーツ少年団関係団体と一層連携を密にし、阿賀野市のスポーツ振興に努めていきたいと思っております。

また、市民の皆さんから信頼と期待される協会を目指して、努力してまいりますので、市民の皆様はじめ賛助会員・関係各位の皆様方には、今後とも引き続きご支援・ご協力を申し上げます、あいさついたします。

令和元年8月